



平成22年度予算等審査特別委員会審査風景

予算等審査特別委員会委員

委員長	吉岡 和江 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
副委員長	伊東 正博 (鎌倉みらい)
委員	安川 健人 (鎌倉無所属の会)
	西岡 幸子 (公明党鎌倉市議会議員団)
	飯野 眞毅 (民主党鎌倉市議会議員団)
	高野 洋一 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
	池田 実 (鎌倉みらい)
	三宅 真里 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	太田 治代 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	中村聡一郎 (新・かまくら民主の会)

平成22年度一般会計予算を審議

一般会計予算を修正可決

二月十八日の本会議において、平成二十二年度の市政運営に対する市長の所信と施策概要の説明が行われ、平成二十二年度予算関係議案が提出されました。

鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会の設置

提出された議案は、一般会計予算など十七議案で、一般会計は、前年度と比較して二・四％の増となる五百七十九億二千三百万円（国の施策である「子ども手当」の創設に伴い、その経費二十二億三千万円が含まれており、この経費を差し引くと実質〇・六％の減）でした。

特別会計は、下水道事業、大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、老人保健医療事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業及び後期高齢者医療事業の七特別会計の合計で、前年度と比較して十一・一％の増となる四百五十五億九千三百六十万円でした。

一般会計と特別会計を合わせた予算総額は一千三十五億

一千六百六十万円（前年度対比六・七％増）でした。

担当原局・理事者への質疑

予算特別委員会では、三月十一日及び十五日から十七日に担当原局に対する質疑を通じて、今後取り組むべき諸課題について、その対応の方策や方向性を検証しました。

また、三月十八日には施策の一部について理事者質疑を行い、見解をたしました。

理事者質疑の項目は次のとおりでした。

一般会計予算

総務費

①管理業務委託について

②地域手当について

③事業仕分けについて

④事業仕分けの必要性について

⑤情報システムに係る経費について

⑥事務事業の見直しのあり方について

⑦行財政改革のあり方について

⑧市民協働について

の点に着目し、審査しました。

民生費

①地域福祉支援室の役割について

衛生費

①バイオマスエネルギー回収施設整備事業について

②ごみ処理広域化と長期的なごみ処理計画について

農林水産業費

①鎌倉地域の漁港整備について

土木費

①海浜公園の整備計画について

②坂ノ下地区における海浜公園の整備計画について

③緑地保全基金について

一般会計予算に対する修正案の提出

理事者質疑の後、四人の委員から連名で、平成二十二年度一般会計予算の原案に対し修正案が提出されました。

修正案は、予算特別委員会における資料要求により提出された「「行革元年」平成二十二年度主な見直し事業等一覧」では十四件の事業が見直しされ、削減額二億二千二百九十九万三千円となっているが、この中には、まちづくりや市民生活の基本である安全・安心に関する事業、教育支援に係る事業を含んでいることから修正を行うとするもので、主な内容は以下のとおりでした。

まず、鎌倉漁港の整備については、平成二十二年度に基本構想を策定することになっていた事業工程を凍結すれば、平成二十四年度の基本計画策定を事実上断念することになり、防災対策上も必要とされる漁港の建設が遠のくこと、また、計画を再開する段になった場合、かえって莫大な時間と経費がかかるため、基本構想策定を進めておく必要があることから、鎌倉地域の漁港建設に係る基本構想策定についての予算措置を施しておくべきであり、その費用として第三十款農林水産業費、第五項農業水産業費、第十五目農業水産業振興費において、鎌倉地域漁港対策事業の基本構想策定に係る経費として八百万円を計上すること。

次に、バスベイ整備については、安全・安心まちづくりの一環として、バス乗降客の安全の確保及び停車により生じる渋滞の緩和を図るもので、今年度選定した箇所を平成二十二年度に整備する予定が先送りされているが、整備を予定していた二箇所のバス停は、通勤通学や買い物客、児童生徒の利用が考えられることや、民地の買収をすることなく整備ができ、比較的内容にバス乗降客の安全が確保できる場所であることから、何より「いのち」にかかわる事業を先送りしないため、第四十五款土木費、第二十項都市計画費、第五目都市計画総務費において、バスベイ整備費として六百万円を計上すること。

次に、鎌倉市の高校生に対する奨学金については、新年度から、国の施策として高等学校授業料無償化が予定されており、これまで本市の奨学金制度が実質的に授業料相当額を支援してきたことから、その目的を終えたとして、その原資となる鎌倉市奨学金基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例が提案されているが、高等学校就学については、授業料以外についても多額の費用がかかること

ら、授業料支援だけを目的とするのではなく、公立・私立間の格差、家庭の経済格差を少しでも軽減する方策が必要であるため、第五十五款教育費、第五項教育総務費、第十五目教育指導費において、就学支援事業として高等学校等生徒に対する奨学金への積立金七百一万九千円を計上すること。

なお、歳入において、奨学金の廃止に伴い、奨学金基金から遺児福祉基金積立金へ繰り入れられる予定であった二百五十万六千円を全額削除するとともに、歳出において、第十五款民生費、第十項児童福祉費、第五目児童福祉総務費に計上されている児童福祉運営事業に係る経費のうち、遺児福祉基金積立金の二百五十一万六千円から二百五十万六千円を減額し一万円とすること。

予算特別委員会で採決

その後、付託を受けた平成二十二年度一般会計予算など十六議案の採決を行いました。

その結果、一般会計予算は、修正案及び修正部分を除く原案を可決、下水道事業特別会計予算を初めとする七特別会計予算については原案のとおり可決すべきものと決しました。

本会議において予算特別委員長から審査結果を報告

三月二十五日の本会議において、予算特別委員長から、委員会に提出された一般会計

市議会ホームページを見てみよう！

鎌倉市議会ホームページでは、本会議・委員会の日程のお知らせや市議会議員の紹介のほか、議会の流れや議会用語等を説明しています。また「**本会議中継システム**」では本会議の生中継及び録画映像を、「**会議録検索システム**」ではこれまでの本会議や委員会の会議録を見ることができますので、どうぞご利用ください。

9月からは、常任委員会等のインターネット中継も始まります！

●アクセス方法は…

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.html>

または、

鎌倉市議会

検索



予算案に対する修正案の内容、予算特別委員会での審査結果等が報告され、保育園の待機児童について、早急な対策を求める旨の意見が付されました。

本会議において議決

委員長報告の後、各会派及び無所属議員一名から、討論として、原案及び修正案に対する賛否の意見が表明されました。

その後、採決を行い、下水道事業特別会計予算、大船駅東口市街地再開発事業特別会

計予算、国民健康保険事業特別会計予算、老人保健医療事業特別会計予算、公共用地先行取得事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算及び七件の条例関係議案を総員の賛成により可決、一般会計予算は修正案及び修正部分を除く原案をそれぞれ多数で可決、後期高齢者医療事業特別会計予算を多数の賛成により可決、鎌倉市奨学金基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定については、少数の賛成により否決しました。